

解 禁 日 時

- ・ テレビ, ラジオ, インターネット 令和2年3月19日(木) 午後5時
- ・ 新聞 令和2年3月20日(金) 朝刊

広報資料

(文部科学・
府政同時)

令和2年3月19日

京都市文化市民局

(担当 文化財保護課)

電話 366-1498

(担当 美術館)

電話 771-4334

京都市美術館本館等の国登録有形文化財への登録について

京都市京セラ美術館としてリニューアルオープンを予定している京都市美術館は、昭和8年建築の国内最古の美術館建築であり、近代建築として高く評価されている建物の意匠を保存・継承しつつ、現代的な機構を加えて再整備を進めながら、国の登録有形文化財へ登録することを目指し、文化庁へ意見具申しておりました。

この度、国の文化審議会において、京都市美術館本館の下記の7施設について、文化財登録が妥当とする答申が出されましたので、お知らせします。

今後、令和2年7月頃の官報告示により、正式に国登録有形文化財となる見込みとなっております。

記

1 登録施設

	名 称	建築年代等	登録基準※
①	京都市美術館本館	昭和8年／ 令和元年改修	造形の規範となっているもの
②	京都市美術館正門（北）	昭和8年頃	国土の歴史的景観に寄与しているもの
③	京都市美術館正門（南）	昭和8年頃	国土の歴史的景観に寄与しているもの
④	京都市美術館北門	昭和8年頃	国土の歴史的景観に寄与しているもの
⑤	京都市美術館東門	明治後期	国土の歴史的景観に寄与しているもの
⑥	京都市美術館北案内板	昭和8年頃	造形の規範となっているもの
⑦	京都市美術館南案内板	昭和8年頃	造形の規範となっているもの

※ 登録基準については、裏面参照

2 所在地

京都市左京区岡崎円勝寺町124他

3 特徴・評価

京都市美術館は、平安神宮へ至る神宮道に面して建ち、昭和天皇即位に伴う奉祝記念事業で建設されました。設計図案を公募し和洋の様式を巧みに織り交ぜた意匠が評価された建築家・前田健二郎の原案を基に、京都市土木局営繕課が設計。鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上2階地下1階建てで、建物四面の各中央に車寄せ付きの入り口を設けています。

雄大さと繊細さを兼ね備えた荘厳な美術館であり、堂々たるつくりで洗練された細部意匠も秀逸である点等が評価されました。

4 国登録有形文化財（建造物）について

(1) 概要

平成8年10月1日に施行された文化財保護法の一部を改正する法律によって導入された制度で、保存及び活用についての措置が特に必要とされる文化財建造物を、文部科学大臣が文化財登録原簿に登録するものです。

この登録制度は、近年の国土開発や都市計画の進展、生活様式の変化等により、社会的評価を受けるまもなく消滅の危機に晒されている多種多様かつ大量の近代等の文化財建造物を後世に幅広く継承していくために作られたものです。届出制と指導・助言等を基本とする緩やかな保護措置を講じるもので、従来の指定制度（重要なものを厳選し、許可制等の強い規制と手厚い保護を行うもの）を補完するものです。

(2) 登録基準

原則として建設後50年を経過し、かつ、次の各号の一に該当するもの

- 一 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- 二 造形の規範となっているもの
- 三 再現することが容易でないもの

5 「京都市美術館本館 保存・活用の概要」の発行（別添）

国登録有形文化財への登録に係る答申を受けて、今後の京都市美術館の保存・活用の方針を分かりやすくお示しするため、「京都市美術館本館 保存・活用の概要」を発行しました。

登録施設（京都市美術館本館等）の概要

京都市美術館本館 1棟

鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造地上2階
地下1階建、銅板葺、
建築面積4596㎡



京都市美術館正門 （北） 1基

鉄筋コンクリート造、
間口18m



京都市美術館正門 （南） 1基

鉄筋コンクリート造、
間口18m



京都市美術館北門 1基

鉄筋コンクリート造、
間口18m



京都市美術館東門 1基

石造、
間口3.9m



京都市美術館 北案内板 1棟

鉄筋コンクリート造
一部木造、
柱間3.3m



京都市美術館 南案内板 1棟

鉄筋コンクリート造
一部木造、
柱間3.3m

